

F-Secure Server Security 12.11 インストール手順

この文書は、F-Secure Server Security (エフセキュア Windows サーバ セキュリティ)12.11 を EXE 版インストーラを利用して新規インストールまたは旧バージョンからのアップデートを行う手順を記載します。ポリシーマネージャからポリシーベースのリモートインストール/アップデートを行う場合は、ポリシーマネージャ管理者ガイドをご参照ください。

<https://download.f-secure.com/corpro/pm/pm12.40/fspm-12.40-adminguide-jpn.pdf>
の 3.4.2 ポリシーベースインストール を参考にしてください。

【サポート対象 OS】

Microsoft Windows Server 2008
Microsoft Windows Server 2008 R2
Microsoft Small Business Server 2008
Microsoft Small Business Server 2011, Standard edition
Microsoft Small Business Server 2011, Essentials
Microsoft Windows Server 2012
Microsoft Windows Server 2012 Essentials
Microsoft Windows Server 2012 R2
Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
Microsoft Windows Server 2012 R2 Foundation
Microsoft Windows Server 2016 Standard
Microsoft Windows Server 2016 Essentials
Microsoft Windows Server 2016 Datacenter
Microsoft Windows Server 2016 Core (SS/ESS のみ)

注意事項: Windows Server 2016 Nano はサポート対象外 OS となります。
下記の OS エディション以外は、サポート対象となります。

Windows Server for Itanium processor
Windows HPC editions for specific hardware
Windows Storage editions
Windows MultiPoint Server
Windows Home Server

注意事項: 各 OS の最新サービスパックが必須です。

下記リリースノート「Supported operating systems」をご参照ください。

<https://help.f-secure.com/product.html#business/releasenotes-business/latest/en/fsess-latest-en>

ポリシーマネージャで集中管理する場合、F-Secure Policy Manager Windows 12.30 以降が必要です。

※環境により、インストール/アップデート後にサーバの再起動が必要です。
再起動を行うことができるタイミングでインストールを行ってください。

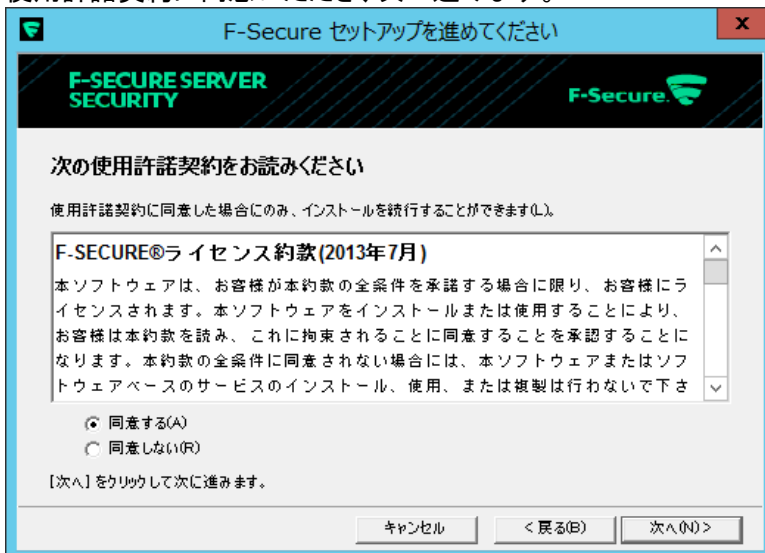
1. F-Secure Server Security (エフセキュア サーバ セキュリティ) 12.11 のインストーラ fsss-12.11.103.exe をダウンロードサイト(https://www.f-secure.com/ja_JP/web/business_jp/downloads/server-security/latest) よりダウンロードします。

※エフセキュアサーバセキュリティプレミアムは、fssspr-12.11.103.exe をダウンロードしてください。

2. インストーラをダブルクリックしてインストールを開始し、インストール言語を選択して次へ進みます。



3. 使用許諾契約に同意いただき、次へ進みます。



4. Server Security 12 のライセンスキーコードを入力して次へ進みます。

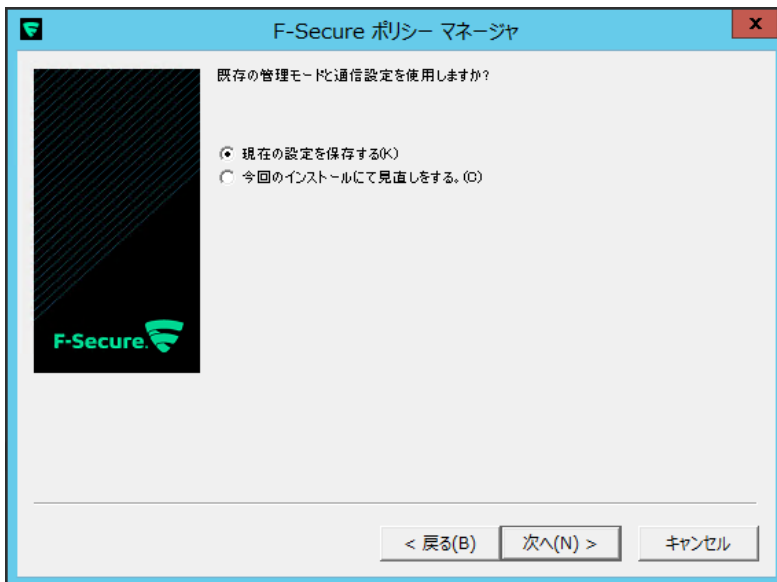


5. インストールするコンポーネントを選択して次へ進みます。
標準では[オフロード スキャン エージェント]以外は全て選択されています。



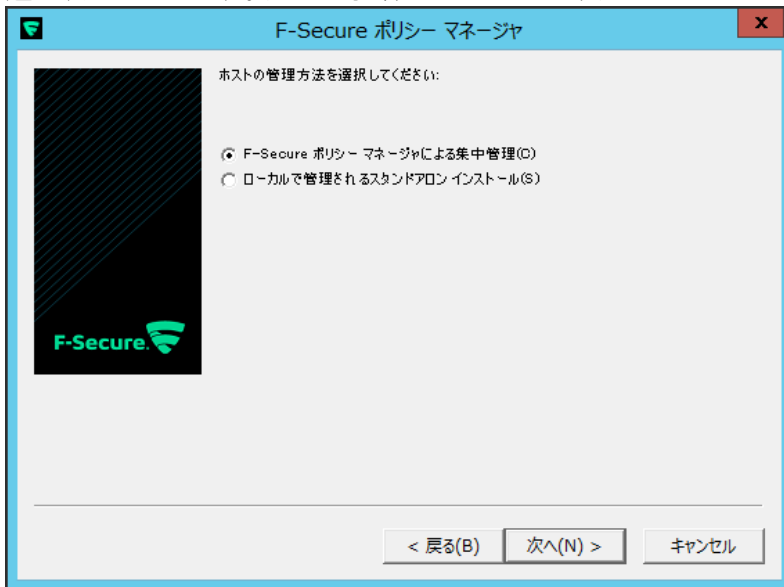
オフロード スキャン エージェント は、仮想環境において、各ホストのスキャン負荷を軽減するためにエフセキュア仮想スキャンサーバ(F-Secure Scanning and Reputation Server)を利用するための構成です。
エフセキュア仮想スキャンサーバを利用していない場合はインストールしないでください。

6. 以前のバージョンからのアップデートの場合は以下の画面が表示されます。
以前のバージョンの設定(ポリシーマネージャ管理の有無と、接続先ポリシーマネージャの設定)を引き継ぐ場合は[現在の設定を保存する]を選んで次へ進みます。(P.6 の手順#10 へ進みます)
設定を変更する場合は[今回のインストールにて見直しをする]を選んで次へ進みます。(手順#7 へ進みます)

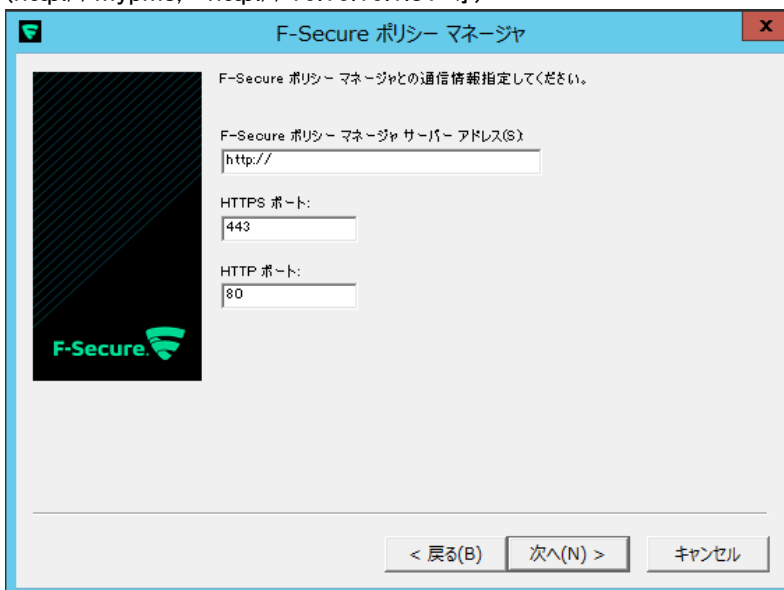


7. ホストの管理方法を選択します。

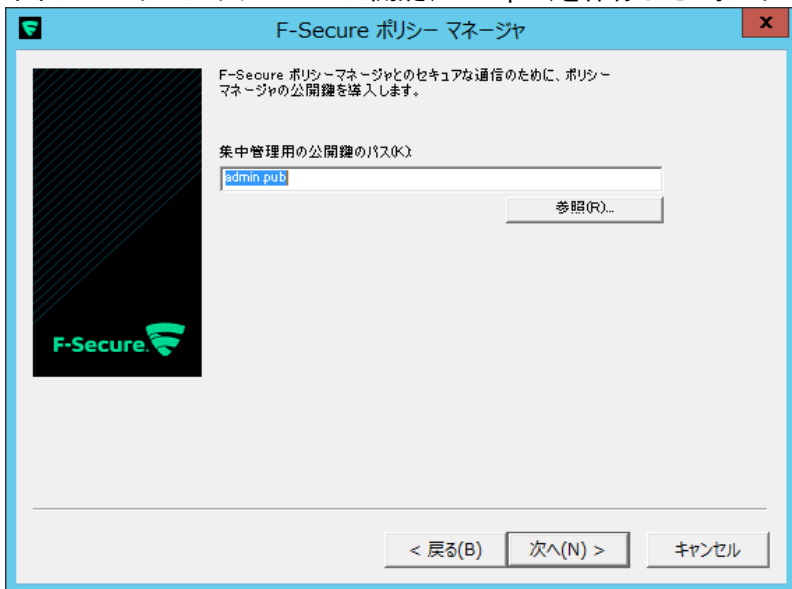
ポリシーマネージャで集中管理する場合は[F-Secure ポリシーマネージャによる集中管理]を選び、次へ進みます。このサーバの Web コンソールのみを利用して管理する場合は[ローカルで管理されるスタンドアロンインストール]を選び、次へ進みます。(P.6 の手順 #10 へ進みます)



8. 集中管理の場合は、ポリシーマネージャサーバのアドレス(ホスト名または IP アドレス)を入力します。ポリシーマネージャのポートをデフォルトの 80 番から変更している場合は、末尾にポート番号を記入します。(http://mypms, http://10.10.10.1:81 等)



9. ポリシーマネージャサーバの公開鍵(admin.pub)を保存したフォルダのパスを入力します。



集中管理用 admin.pub ファイルの取得方法

クライアントの Web ブラウザより、ポリシーマネージャのアドレスを入力します。

ポリシーマネージャの画面が表示されましたら、管理用公開鍵ファイルのダウンロードリンクから admin.pub ファイルをダウンロードできます。



クライアントからこのページが表示できない場合、ポリシーマネージャサーバに正しく接続できない可能性があります。サーバ側ファイアウォール等で、ご利用のポート(デフォルト TCP443 番)をブロックしていないかご確認ください。

10. インストールを開始する準備が整いました。[開始]をクリックしてインストールを開始します。



11. インストールが完了したら、次へ進みます。



12. 製品のインストール後、サーバを再起動します。※サーバ再起動しない場合は、製品が適切に動作されないため、必ず再起動してください。



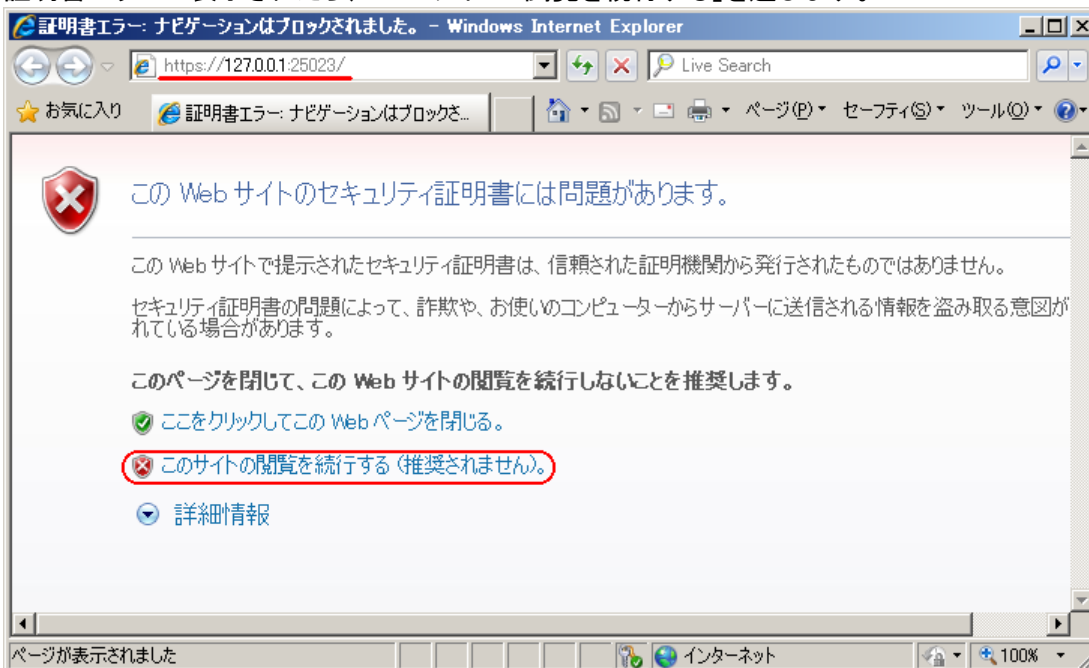
ローカルサーバ証明書のインストール(オプション)

製品の設定を行う Web コンソールを表示すると「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります」と表示されます。

これは Web コンソールが安全な通信を確保するために SSL による暗号化通信を利用していますが、このためにサーバが提示する証明書をインストールしていないために表示されます。

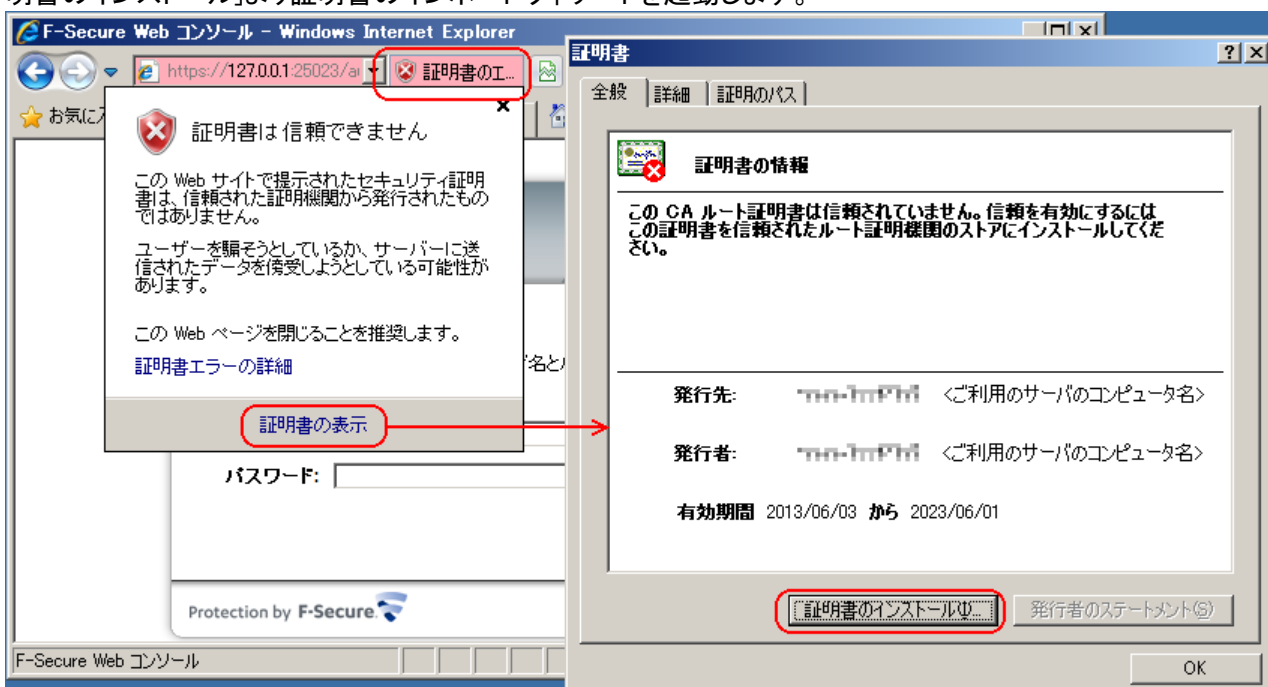
接続先サーバの IP アドレスが正しい場合、問題なくサイトの閲覧を続行いただけますが、同サーバ用の証明書をインストールすることでこのエラーを表示しないようにすることもできます。

1. スタート>すべてのプログラム>F-Secure Server Security>F-Secure Server Security Web コンソール より、Web コンソールを開きます。
2. 証明書エラーが表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する」を選びます。

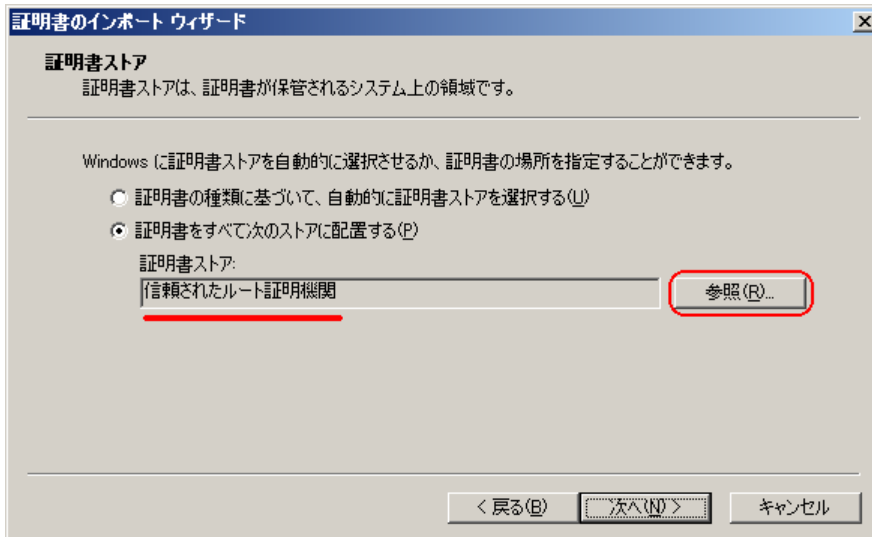


3. ログイン画面が表示されたら、Internet Explorer アドレスバーの[証明書のエラー]をクリックし、[証明書の表示]より証明書を表示します。

証明書の発行者が F-Secure Server Security をインストールしたサーバのコンピュータ名であることを確認し、[証明書のインストール]より証明書のインポートウィザードを起動します。



4. 証明書のインポート ウィザードでは、[証明書をすべて次のストアに配置する]を選び、[参照]ボタンより[信頼されたルート証明機関]を選択して次へ進んでください。



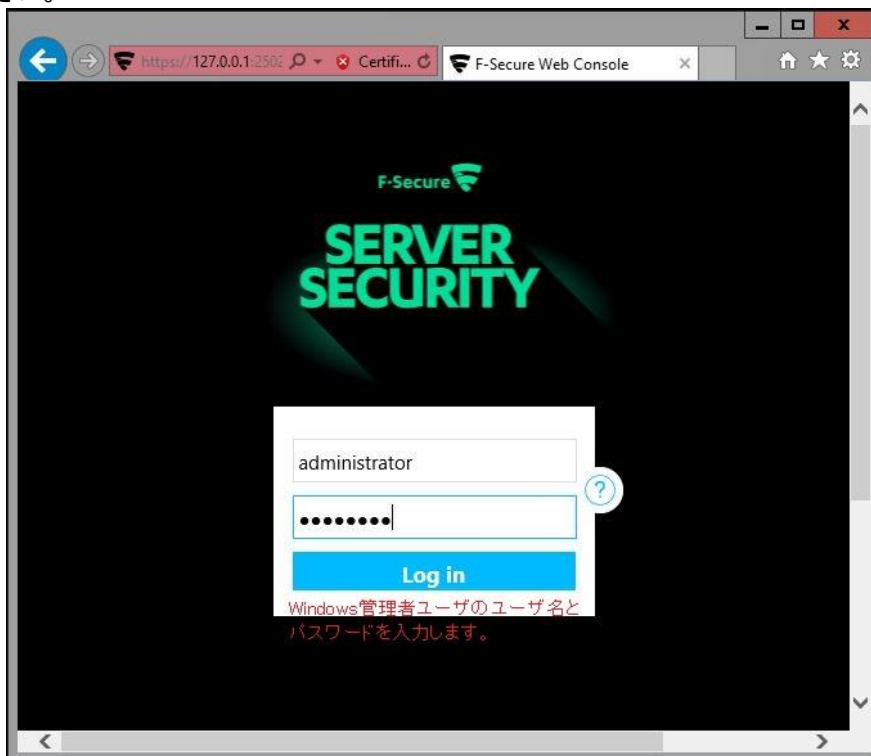
5. 証明書をインストールするかどうかを確認する画面が表示されますので、インストールを承認して証明書をインストールします。

証明書のインストール後、Internet Explorer を閉じて、再度 Web コンソールを開くと、証明書エラーを解消できます

Web コンソールへのログイン

製品の設定は、スタート>すべてのプログラム>F-Secure Server Security>F-Secure Server Security Web コンソール より行います。

Web コンソールにログインするには、Windows の管理者ユーザーのユーザー名と、その Windows パスワードを入力してください。



製品のアンインストール

製品をアンインストールするには、コントロールパネルのプログラムのアンインストールより、次の順序でコンポーネントをアンインストールし、その後サーバを再起動してください。

1. F-Secure サーバ セキュリティ - オフロード スキャン エージェント (インストールされている場合)
2. F-Secure サーバ セキュリティ - ブラウザ保護
3. F-Secure サーバ セキュリティ - Web スキャン
4. F-Secure サーバ セキュリティ - ディープガード
5. F-Secure サーバ セキュリティ - ウイルスとスパイウェア防御